

## 就任のごあいさつ



副議長  
田 中 実 穂



議 長  
西 川 健 三

私どもは、9月の定例市議会において、議長、副議長にご選任いただきました。誠に身に余る光栄であり、その職責の重さを痛感いたしているところでございます。

もとより、微力ではございますが、これまで市議会議員として務めてまいりました経験を踏まえ、私たちのふるさと大竹のために全力を傾注してまいる所存でございます。

ご承知のとおり、「社会の少子高齢化と人口の減少傾向」、「岩国大竹道路建設事業」、そして「大竹港東栄地区港湾整備事業などに起因する大願寺山造成事業の巨額の債務残高」など、多くの課題を抱えております。さいわいにして、大竹工業団地には、計画当初に目論んでいましたように、巨大工場の建設が進み、幾分の光明が見えつつあります。

しかし、今現在を考えると、市の財政状況が極めて逼迫していることは紛れもないことであり、市民の皆さまも、大きな不

安を感じられていることと思えます。

こうしたなか、行政の執行を負託されている市長は、重大な決意を持って、ことに臨み、再び「私たちのふるさと大竹」に元気を取り戻す基礎を作り上げる覚悟を示されています。

私たち市議会議員は、市長の行政執行・提案権に対して合議をもつてその是非を審議し、政策を決定する役割を、市民の皆さまからご負託いただいております。

このご負託をいただいた責任は、私たちが市民の皆さまの目線に立った判断をすることで、果たしていかなければなりません。私たちは、円滑な議会運営によつて、市議会が市民の皆さまのご意見をしっかりと受け止めた判断をするよう、力一杯の努力をしてまいる所存でございます。

今後とも、市民の皆さま方に絶大なご協力を切にお願い申し上げます。議長、副議長就任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

## 常任委員会

議会上程された議案は、本会議において、議員全員の合議によって決定されます。しかし、行政の範囲は広範多岐にわたりますので、各議員が所属常任委員会に分かれて、重点的・専門的に事前の審査を行う委員会主義の議会運営が一般的です。

大竹市議会におきましては、条例によって、総務文教委員会と生活環境委員会の2つの常任委員会を設けています。(前議会においては、3常任委員会制でしたが、議員定数の減少に対応するため、今議会においては、2常任委員会制としています。)

また、議会運営、会議規則、議長の間接に関するなどについて調査を行うため、常任委員会とは別に議会運営委員会を設けています。

## 議会運営委員会

委員長 広岡 巧  
副委員長 上野 克己  
委員 寺岡 公章  
" 原田 博  
" 二階堂 博  
" 岡部 健三

## 総務文教委員会

大竹市全体のまちづくりについて幅広く考える部署としての総務企画部や、教育委員会、消防本部・消防署、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項について審査します。

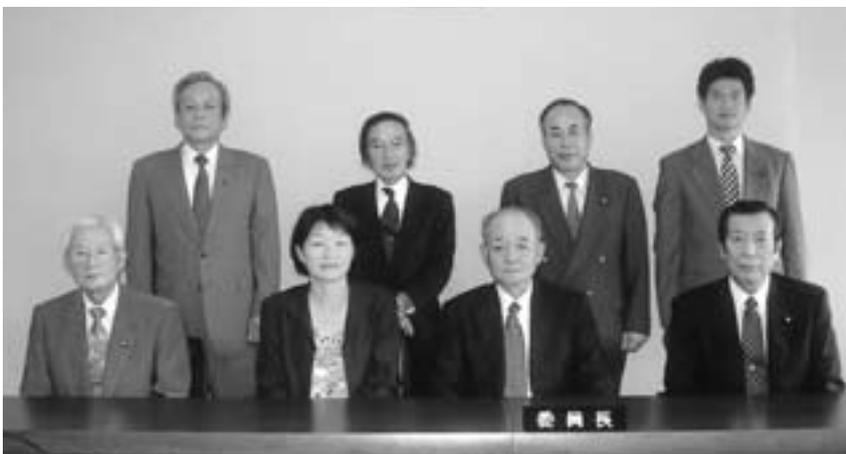
また、生活環境委員会に属さない事項については、この委員会で審査します。



北林 隆委員 山崎年一委員 山田晟彰委員 乃美晴一委員  
寺岡公章委員 田中実穂委員 原田 博委員長 日域 究副委員長

## 生活環境委員会

福祉施策など主にソフト事業による市民サービスを担う市民生活部、主にハード部門を管理しながら、市民サービスを行い、技術職員の力を活かして施設を管理するとともに、都市環境という新しい視点にたったまちづくりを行う都市環境部及び、市民生活に欠かせない上下水道や下水道の管理を行う上下水道局の所管に属する事項について審査します。



岡部健三委員 広岡 巧委員 上野克己委員 児玉朋也委員  
山本孝三委員 細川雅子副委員長 二階堂博委員長 西川健三委員

## 特別委員会

特別の事件について、集中的に調査・審査するため、本会議の議決によって設置します。

### 岩国大竹道路対策特別委員会

岩国大竹道路の建設による交通障害の不安や、時間的・経済的損失など、事業に付随する諸問題に対処するため、平成10年12月18日に特別委員会を設置して取り組んできているところですが、新議会においても引き続き特別委員会を設置しました。

委員長 岡部 健三  
副委員長 二階堂 博  
委員 西川 健三  
          児玉 朋也  
          細川 雅子  
          日域 究  
          上野 克己  
          原田 博  
          広岡 巧  
          山本 孝三

### 岩国大竹道路対策特別委員会の設置に関する決議

1. 本議会に、岩国大竹道路対策特別委員会を設置し、10名の委員をもって構成する。
  2. 本議会は、岩国大竹道路対策特別委員会に対し、次の事項を付議する。  
(1) 岩国大竹道路対策に関する事項
  3. 岩国大竹道路対策特別委員会は、議会の閉会中も付議事項の審査を継続し、設置期間は、議会が本案件の終了の議決をするまで存続する。
- 平成19年9月18日  
大竹市議会

### その他の委員など

#### 宮島競艇施行組合議会議員

上野 克己  
寺岡 公章  
原田 博  
広岡 巧

### 広島県後期高齢者医療広域連合議会議員

細川 雅子

### 大竹市農業委員会委員

日域 究

### 議会だより編集委員会

委員長 日域 究  
副委員長 細川 雅子  
委員 乃美 晴一  
          北林 隆  
          山田 晟彰  
          山崎 年一

### 議会改革等研究会

前議会においては、「議会改革等検討委員会」を設置し、議会経費削減のため議員定数の2名減や、政務調査費の使途基準を明確に整理しました。

新議会においても、議会運営委員会の調査研究機関として「議会改革等研究会」を設置して、前議会の検討委員会において提起された課題な

どについて、引き続き調査研究を進めます。

会長 田中 実穂  
副会長 広岡 巧  
委員 西川 健三  
          上野 克己  
          寺岡 公章  
          原田 博  
          二階堂 博  
          岡部 健三

**ご利用ください**  
「声の市議会だより」  
「点字の市議会だより」

広く市民の皆さんにご利用いただくため、音声ボランティアと点字ボランティアの方々のご協力によりまして、市議会だよりの内容を録音した「声の市議会だより（テープ）」を貸し出しています。

また、「点字の市議会だより」は差しあげます。

ご希望の方は、市社会福祉協議会（☎52-2211）までご連絡ください。

※ 市議会だよりは市のホームページにも掲載しています。

平成19年

# 第3回 定例市議会

会期 9月10日～28日

会期中に議事人事案件他、決算3件（認定）、補正予算案3件（原案可決）、条例案2件（原案可決）、人事案件2件（原案同意・当選決定）、その他8件の議案、請願1件、陳情2件を審議しました。主な議案の概要は次のとおりです。

## ○平成19年度大竹市一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ5千111万9千円を追加し、予算総額を11億2千626万2千円にするものです。

歳出の主な内容は、市議会議員定数の2名削減による減額、国保連合会障害者自立支援システム変更による改修委託料、一般道路補修工事、黒川住宅改築の実施計画延期による減額です。

歳入の主な内容は、地域介護・福祉空間整備等交付金、宮島競艇周辺整備事業助成金等です。

## ○大竹市国民健康保険条例の一部を改正

平成18年6月21日に公布された健康保険法等の一部を改正する法律の一部が平成20年4月1日から施行されることに伴い、条例の一部を改正するものです。医療機関等において療養の給付を受ける際の一部負担割合について、2割が適用される方の範囲を現行の3歳未満から6歳に達

する日以後の最初の3月31日以前までに延長、また、一定以上の収入のある方を除き70歳以上75歳未満の方の一部負担金の割合について、1割から2割に変更するものです。

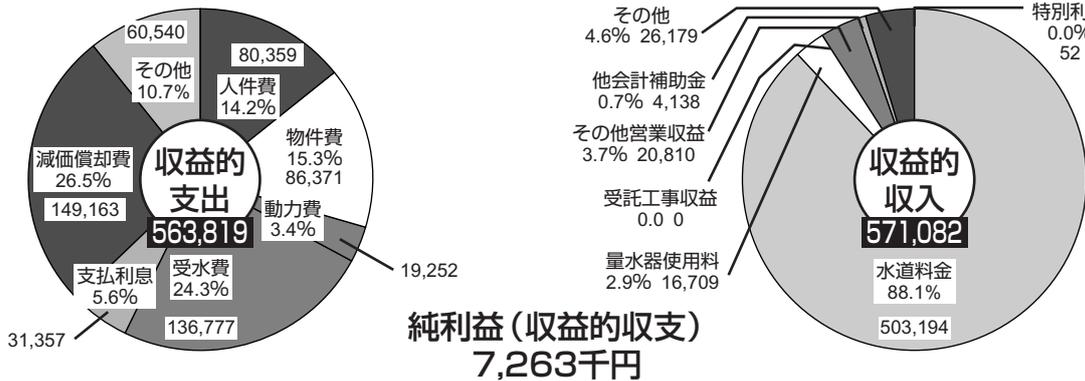
○大竹市議会委員会条例の一部を改正  
常任委員会の数が3から2に変更されたことなどに伴い、議会運営委員会の委員の定数「7人」を「6人」に改正しました。

○監査委員の選任の同意  
任期満了となる津玉直洋氏の後任として岡部健三氏を選任することに同意しました。

○市議会議員の報酬等の減額を求める決議  
市議会議員より報酬等の減額を前提として、大竹市特別職報酬等審議会に諮問することを求める決議について提案がありました。賛成少数で否決されました。

## 平成18年度 水道事業会計の収支状況

(単位：千円)



## 平成18年度 工業用水道事業会計の収支状況

(単位：千円)

